

気づきの向こう側

令和3年4月16日（金）
自問清掃通信 第1号

いよいよ令和3年度の自問清掃がスタートしました。今年度も新たな3つの玉、「根気玉」「親切玉」「発見玉」を磨いていきます。

根気玉・・・進んで清掃に取り組む強い心

根気玉を磨くことで、まじめに取り組む自分に**気づく**

親切玉・・・人を助けてあげる心

親切玉を磨くことで、気配りができ、**周りで困っている人に**気づく****

発見玉・・・新しいことを見つける心

発見玉を磨くことで、自分の成長に**気づく**、友人の素敵な**ところに**気づく****

3つの玉を磨いていくことで、多くの気づきが生まれます。

そして、その“気づきの向こう側”では、自分にしか知ることのできない私に出会えることでしょう。

過去の自問通信より・・・

「きみがうれしいから ぼくもうれしい」平成18年4月21日第4号より、ぞうきんを二つ折りにしてふいてみてください。汚くなったら折り返し、汚くなったら裏返し・・・、と上手に使いえば4回も使えます。すると、ぞうきんは裏も表も真っ黒です。時々、手のひらの形に真っ黒になったことはありませんか？あれを見ると、「ああ、手に勝る道具はないなあ」なんて思います。ぞうきんは人間の手にもなってくれるのです。

日の光に干されてパリパリになったぞうきんが好きです。そのぞうきんに水を含ませた瞬間の急速にやわらかくなる感覚も好きです。毎日、同じぞうきんを使っていると、たかがぞうきんに愛着がわくものです。自分の心が真っ白になっていく代わりに、ぞうきんは真っ黒になっていきます。

長い歴史の中で受け継がれている一つに、この自問通信もあります。

床を磨く姿は、15年以上変わらない弥北の風景と化しています。

今日も同じ光景を目にします。

一人一人が15分間という、わたしだけの時を刻んでいくことでしょう。

(文責 中野 未来)

